



# るびす蔵通信

## 「るびす」様の素晴らしさ！

### 知られざるるびす酒造の社名の由来

みなさまこんにちは。

この度、るびす蔵通信の創刊にあたり記念すべき第1回目は、るびす酒造の社名の由来である「るびす」様についてご説明していきたいと思っております。「るびす」様は日本の神で古来から漁業の神でもあり、現在では一般に七福神の一員として日本古来の唯一（その他はインド、中国の神）の福の神として知られています。遠方より福をもたらしてくれる神と云われ、商業では商売繁盛の神、農業においては豊作の神として崇められてきました。その「るびす」様の石像が創業当時、蔵の敷地内にあったという。このことから創業者「荻竹次郎」は焼酎に「るびす」の名を冠し販売を始めました。昭和43年には、「(株)荻商店」から「るびす酒造(株)」に社名変更。米焼酎「福德るびす」とともに「るびす」様への思いは現在に引き継がれています。次号では現在、蔵に二体ある「るびす」様の石像のルーツにせまってみたいと思っております。



昔の焼酎るびすのロゴ

## あー素晴らしきかな朝倉市

### 水を育み 街を潤す 健康文化都市の創造

朝倉市は福岡県の東南部に位置する田園都市です。北部から東部にかけては、山脈が連なる山岳丘陵地帯が続き南東部から西部にかけては、この山脈を源とする小石原川、佐田川の2主流が平野を潤し、九州一の大河、筑後川に注いでいます。恵まれた資源を活かした江川ダム、寺内ダムを有し、北部九州の水源として大きく貢献しています。「水を育み 街を潤す 健康文化都市の創造」朝倉市のキャッチコピーにもなっており、私たちるびす酒造にとっても貴重な資源である「水」。酒を造る全ての工程に欠かせないものであり、この朝倉市にある豊富な地下水は、とてもまろやかで美味しいという酒造会社としては恵まれた環境で今も酒造りができるということに今更ながら感謝しております。



場所は福岡県と大分県の県境

## 編集後記

### 新しいロゴマークができました。

今回初めてニュースレターを作成するにあたり、会社のロゴマークを作ることになりました。今までなかったのが不思議なくらいでしたが…。古式蒸留器「蘭引」を表す象形文字を榎樽のシルエットで囲んだものに決めました。当社の焼酎造りと貯蔵熟成へのこだわりを表現できるロゴになったのではないかと考えています。この「るびす蔵通信」では当社の取り組みや地元を中心とした情報などを皆様にお伝えしていきたいと考えています。読みにくい文章や構成になっているかもしれませんが、どうぞあたたかく見守ってくださるようお願いしております。今後ともよろしくお願い致します。

